

《理事会・総会記録》

◇平成29年度 第1回理事会

日 時：平成29年2月3日（金） 15：00～16：30

出席者：（理事）浅野彰洋，門松 武，金井 誠，齋藤晴美，自閑茂治，瀧本純也，高野 登，田代民治，棚橋通雄，
橋本徳昭，福田直利，松本徳久，森北佳昭，柳川城二（14名）

（監事）谷本光司，出水重光

事務局：小金沢彰事務局長，柴崎佳苗

議 事：（1）決議に関する議案

決議案1：平成28年度事業報告について

決議案2：平成28年度決算報告について

決議案3：平成29年度予算の修正について

（2）報告事項等

職務執行状況報告（第1回）

その他報告

◇平成28年度定時社員総会

日 時：平成29年2月24日（金） 15：00～16：30

場 所：中央区立中央会館（銀座ブロッサム）宴会会室「マーガレット」

社員出席状況の確認

社員総数	78名
本人出席	20名
代理人出席	22名
委任状及び議決権行使	32名（議決権の総数 74）

以上により総会は定款第18条に基づき成立していることを確認した。

その他出席者

（来賓）国土交通省水管理・国土保全局治水課課長 泊 宏様，

農林水産省農村振興局整備部設計課長 安部伸治様（代理・中村康明様）

（理事）浅野彰洋，金井 誠，自閑茂治，高野 登，瀧本純也，田代民治，棚橋通雄，橋本徳昭，福田直利，
森北佳昭，松本徳久，柳川城二

（監事）谷本光司，出水重光

（顧問）坂本忠彦

（新役員候補者）有賀 茂，岡本 正，多田隆司，藤原正雄，吉岡一郎，水鳥雅文，野田 徹，前川 功

（事務局）小金沢彰事務局長，柴崎佳苗

議 題：（1）平成28年度事業報告（総会報告事項）

（2）平成28年度決算報告（総会決議事項）

（3）定款の変更（総会決議事項）

① 第13条 社員総会の開催時期について

② 第41条 財産の管理に関する規則の名称について

③ 第43条3項 事業報告，決算，監査報告書類の備え置き期間について

（4）任期満了に伴う役員（理事，監事）の選任（総会決議事項）

（5）平成29年度事業計画と予算（総会報告事項）

（6）その他報告

その1：ICOLD 第85回年次例会（チェコ共和国・プラハ）開催概要

その2：ICOLD 第85回年次例会（チェコ共和国・プラハ）提出論文

その3：会員名簿

その4：オロビルダムの洪水吐きの事故について議事
決議事項及び報告事項についていずれも満場一致で承認された。

◇平成29年度 第2回理事会

日 時：平成29年2月24日（金） 17：30～17：45

場 所：中央区立中央会館（銀座ブロッサム）宴集会室「ローズ」

出席者：（理事）有賀 茂，岡本 正，門松 武，自閑茂治，高野 登，田代民治，多田隆司，棚橋通雄，藤原正雄，
前川 功，松本徳久，水鳥雅文，森北佳昭，柳川城二，吉岡一郎（15名）

（監事）出水重光，野田 徹

議 事：下記の通り役付役員を選定した。

会長理事 柳川城二

副会長理事 杉山弘泰，宮本洋一，森北佳昭

専務理事 松本徳久

常務理事 有賀 茂

更に顧問に坂本忠彦，橋本徳昭を選任する議案を全員異議なく決議した。

任期は平成31年の定時社員総会までである。

《日本大ダム会議 分科会開催》

◆平成29年度既設ダム機能活用検討分科会第1回合理的
管理運用 WG

日 時：平成29年1月11日（水） 15：00～17：00

議 題：1. 話題提供（既設ダムの有効活用に向けた取
り組みについて）
2. WGの進め方について
3. その他

議 事：松森オブザーバーより，国土交通省における既
設ダムの有効活用に向けた取り組みに関して話
題提供があり，既設ダムの連携統合運用，ICT
を活用したダム管理運用（予測活用，遠隔操作，
自動操作等）の取り組みについて，意見交換を
行った。また，WGの進め方についても議論し，
2年目に向けて今後予定する話題提供のテーマ
等について，意見交換した。

出席者：鳥居謙一 WGグループ長，小久保鉄也，
筒井純一，堀 智晴，吉田武郎，森北佳昭委員長，
自閑茂治，箱石憲昭，松森 博オブザーバー，
井山聡幹事

◆平成29年度既設ダム機能活用検討分科会第1回潜在能
力活用 WG

日 時：平成29年1月20日（金） 14：55～17：20

議 題：1. 話題提供1（異常洪水時操作による堤体等
の安定性に与える影響）
2. 話題提供2（降雨・流入予測技術を活用し

た発電専用ダムの運用高度化）

3. WGの進め方について

4. その他

議 事：国立研究開発法人土木研究所山口地質研究監よ
り「異常洪水時操作による堤体等の安定性に与
える影響」について話題提供していただき，堤
体の安全性，カーテングラウチング，貯水池周
辺地すべりの観点から意見交換を行った。また，
芳賀委員より「降雨・流入予測技術を活用した
発電専用ダムの運用高度化」と題して話題提供
があり，熊野川の発電専用ダムに関する取り組
み事例について意見交換を行った。WGの進め
方についても議論した。

出席者：自閑茂治 WGグループ長，川崎将生，芳賀 馨，
箱石憲昭，井山聡幹事，山口嘉一（国立研究開
発法人土木研究所地質研究監），猪股広典（オブ，
国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部
水循環研究室主任研究官）

◆平成29年度第1回 ICOLD プラハ展示 WG

日 時：平成29年1月24日（水） 13：00～15：00

場 所：清心丹大会議室

議 題：1. 委員長挨拶
2. 委員自己紹介
3. WG開催予定と主たる審議事項（案）
4. 展示内容の検討

- ① 海外プロジェクト(ナムニアップ)の紹介
- ② 要素技術の紹介
- 5. 海外情報収集(アンケート)方法ならびにフォロー方法の検討
- 6. その他

議 事：プラハ開催年次例会時の技術展示会に日本ブースを出展するにあたり、基本方針を審議した。展示の意義などについて各委員から活発な意見が出され、展示テーマを次の3つを基本とし、準備を進めることが確認された。①社会・自然活況に配慮したダムの建設、②台形CSGダムの建設、③ダム再生技術(名称はいずれも仮称)

WGは今後1回/月の頻度で開催する。また、次回以降の開催にあたっては、委員長を山口嘉一氏、副委員長を野口博章氏、幹事長を神戸隆幸氏に任を願いWG運営を行うことが了承された。

出席者：柳川城二委員長、伊藤博副委員長、楠見正之副委員長、野口博章幹事長、神戸隆幸幹事、植本実幹事、朝川誠(村上嘉謙代理)、池田茂、加瀬俊久、佐藤 恣、坂詰俊介、清水康記、高木秀和、田頭秀和、鶴田 滋、中根 亘、西浦和幸、藤田 司、村田智生、山口光昭、山口嘉一、山本與四朗

事務局：小金沢彰事務局長、干場朋子

◆平成29年度第2回 ICOLD プラハ展示 WG

日 時：平成29年2月27日(月) 15:00~17:00

- 議 題：1. 委員長挨拶
 2. 前回議事録確認
 3. 展示に関するアンケート集約結果報告
 4. 展示内容の決定
 5. 展示担当(サブWG)の決定
 6. 今後のスケジュール確認
 7. その他(アンケート、フォロー方法に関して他)

議 事：展示内容に関して事前に各委員からアンケートを通じて出された意見が紹介された。これを参考に展示の具体的な内容について議論がなされ、それぞれのテーマの具体化がなされた。また、今後の詳細は各テーマ毎にサブ・ワーキンググループを設けて検討することとし、各担当者を定めた。また、アンケートを通じて来場者の要望などを受け付けるサブ・ワーキンググループも設けることとし、担当者を定めた。

出席者 山口嘉一委員長、野口博章副委員長、神戸隆幸幹事長、伊藤 博顧問、楠見正之顧問、黒木 博、木戸研太郎、池田 茂、大平信吾、

加瀬俊久、坂詰俊介、佐藤 恣、清水康記、高木秀和、鶴田 滋、藤田 司、水野 良、村上嘉謙、村田智生、山本與四朗、目黒信晴(オブ)

事務局：小金沢彰事務局長

◆平成29年度第3回 ICOLD プラハ展示 WG

日 時：平成29年3月27日(月) 14:00~16:50

場 所：日本橋社会教育会館 講習室

- 議 題：1. 委員長挨拶
 2. 前回議事録(案)の確認
 3. 各サブWGからの展示内容(案)の報告と展示内容の決定 等
 ①ダム環境配慮、②台形CSGダム、③ダム再生、④アンケート対応(方法、内容)
 4. 展示ブース備品類に関して(事務局からの情報提供)
 5. 現地への資料等の輸送に関して
 6. 今後のスケジュール確認
 7. その他

議 事：各サブ・ワーキンググループでの検討状況が紹介され、意見が交わされた。事務局から展示方法に関して新たな提案がなされ了承されたが、今後これに基づき準備を進めるには、各サブ・ワーキンググループ間での内容調整が必要となることから、別途幹事会を開催し調整を図った後、次回のWGで報告することとした。今後の展示資料の準備期日・現地発送期日などを確認し、今後の工程を確認した。

出席者：山口嘉一委員長、野口博章副委員長、神戸隆幸幹事長、伊藤 博顧問、楠見正之顧問、黒木 博、小坪洋巳、植本 実、大平信吾、加瀬俊久、坂詰俊介、清水康記、高木秀和、鶴田 滋、田頭秀和、西村健太郎、藤田 司、水野 良、村上嘉謙、村田智生、山口光昭、山本與四朗、田淵貴久(オブ)

事務局：小金沢彰事務局長、干場朋子

◆平成29年度第1回「洪水、渇水とダムの役割に関する APG 技術レポート(仮称)」日本国内作業 WG

日 時：平成29年1月24日(火) 10:00~11:50

議 題：技術レポート第一次案について

- 議 事：・目次案に従い各自作成した一次案を持ち寄り、検討
 ・修正点の今後のスケジュールの確認

出席者：濱口達男委員長、尾寄佳史、神戸隆幸、仁子幸子

◆平成29年度第2回「洪水、渇水とダムの役割に関する

APG 技術レポート（仮称）」日本国内作業 WG

日 時：平成29年2月21日（火） 10：00～11：30

議 題：技術レポート第二次案について

議 事：・二次案の内容、要修正点の検討
・最終案作成に向けた作業の確認

出席者：濱口達男委員長，尾寄佳史，神戸隆幸，
仁子幸子

◆平成29年度第1回編集分科会

日 時：平成29年1月27日（金） 15：00～16：00

議 題：1. 前回分科会議事録確認
2. No.239 2017—4 編集内容について
3. No.240 2017—7 編集方針（案）について
4. その他

出席者 水野光章委員長，中山義紀幹事，上野 登（松崎貴子同席），北村 匡，杉尾俊治（神矢弘代理），石田裕哉，黒木 博

事務局 松本徳久専務理事，小金沢彰事務局長，柴崎佳苗

◆ダム設計基準調査分科会・WG 合同会議

日 時：平成29年2月1日（水） 14：00～16：00

場 所：清心丹大会議室

議 題：1. 委員長挨拶
2. 委員自己紹介
3. 各WGの審議計画
4. その他

議 事：分科会長から、「大ダムの第2次設計基準が出版されて約40年が経った。設計基準は技術の進歩や社会経済情勢の変化に応じて適切な間隔で見直されるべきである。また、わが国では国内のインフラ整備もすすみ、これからはインフラ輸出も視野に入れ海外基準と比較しておくことも重要である。課題は「地震」、「洪水」、「既設ダム」、「新形式のダム」の4課題を設定し対応するワーキンググループ（WG）を設置した。」との趣旨説明があった。その後、各WG委員長が活動計画を説明し、その質疑があった。今後はWGを中心に活動をすすめ区切りのよいところで成果を分科会に戻し審議することとした。

出席者：分科会のみ：柳川城二委員長，竹林雅弘（オブ），増川 晋，北村 匡，高島賢二，峰野佳厚，松本徳久幹事長

1. 地震WG：佐々木隆WG長，佐藤弘行，中村信一，佐藤信光，下山顕治，繁田淳吾，富森 淳，山下哲一，中井利幸，川野健一，

徳永 篤

2. 洪水WG：箱石憲昭WG長，石橋一恭，喜多伸明，芳地康征，小森谷哲夫

3. 既設ダムWG：吉野泰WG長，小坪洋巳，川崎秀明，鶴田 滋，新家拓史，上高克弘，藤崎勝利，貫井 明

4. 新形式のダムWG：山口嘉一WG長，金銅将史，吉田 等，佐野貴之，高島正治，加嶋武志，佐藤英隆，小林 裕，小林雅幸，吉野 俊，小野寺葵（オブ）

事務局：松本徳久専務理事，小金沢彰事務局長，干場朋子

◆平成29年度第1回ダム設計基準調査分科会新形式WG

日 時：平成29年2月1日（水） 16：00～17：00

議 題：今後の検討体制及び検討方針

議 事：1. 検討体制として、WG内に台形CSGダム，表面遮水壁型ロックフィルダムの各サブWGを置く。

2. 台形CSGダムに関する検討方針として、設計法を基準化する場合の案の作成及び海外の類似形式ダムや国内基準で規定されるコンクリートダム等との対比資料の作成を行う。

3. 表面遮水壁型ロックフィルダム（CFRD，AFRD）に関する検討方針として、現行設計基準との関係を念頭に国内事例の設計法のレビューや海外の設計基準の収集整理を行う。

出席者：山口嘉一WG長，金銅将史幹事，吉田 等，佐野貴之，高島正治，加嶋武志，佐藤英隆，小林 裕，小林雅幸，吉野 俊，小野寺葵（オブ）

◆国際分科会論文査読WG

日 時：平成29年2月15日（水） 13：30～16：40

議 題：1. ICOLD プラハ年次例会 本論文査読結果の確認

2. その他

出席者：原田讓二委員長，井山 聡，柏柳正之，川崎秀明，鶴田 滋，山根雄一

事務局：干場朋子

◆平成29年度第1回既設ダム機能活用検討分科会

日 時 平成29年2月28日（火） 15：00～17：00

議 題 1. 本年度の合理的管理運用WG報告と来年度の取り組み

2. 本年度の潜在能力活用WG報告と来年度の取り組み

3. ICOLD 気候変動技術委員会の新フェーズ

4. 分科会報告のとりまとめ骨子案

5. 来年度分科会, WG のスケジュール
6. その他

議 事：合理的管理運用 WG グループ長と潜在能力活用 WG グループ長より, 平成28年度の報告と平成29年度の取り組みについて, 説明があり意見交換を行った。筒井委員より ICOLD 気候変動技術委員会の新フェーズに関して紹介があり, 2017年年次例会(プラハ)における我が国の事例紹介に向けて, 本分科会として可能な限り情報提供を行っていくこととした。また, 分科会報告とりまとめ骨子案について議論し, 平成29年度の取り組みに関して意見交換した。最後に, 平成29年度の方科会, 各 WG の日程調整, 議題の確認を行った。

出席者：森北佳昭委員長, 鳥居謙一, 小久保鉄也, 筒井純一, 堀 智晴, 吉田武郎, 自閑茂治, 芳賀 馨, 箱石憲昭, 井山 聡幹事, 藤田 覚(オブ), 猪股広典(川崎将生代理)

◆平成29年度第1回ダム設計基準調査分科会既設ダム WG

日 時：平成29年3月16日(木) 15:00~17:00

- 議 題：1. WG メンバー自己紹介
 2. 今後の取り組み方針・テーマに関するプレゼンテーション
 3. 当 WG の活動テーマについての議論

議 事：WG メンバー自己紹介, プレゼンテーション「ダムの再開発の計画論から考える既設ダムの改良」(川崎委員), 「再開発施工事例の収集, 整理・体系化, 各ダム固有の設計上の課題をどうクリアしたか, 他」(小坪委員) の後, 当既設ダム

WG の活動方針・テーマについて議論を行った。次回 WG までに議論を集約して活動項目整理を行い, 内容及び役割分担等を議論することになった。

出席者：吉野 泰, 田頭秀和, 小坪洋巳, 川崎秀明, 鶴田 滋, 新家拓史, 上高克弘, 藤崎勝利
 事務局：松本徳久専務理事, 有賀茂常務理事

◆平成29年度第1回ダム設計基準調査分科会地震 WG

日 時：平成29年3月21日(火) 10:00~12:00

- 議 題：1. 第1回調査分科会・WG 合同会議の結果
 2. 地震 WG 内での実施項目及び担当案
 3. 「地震によるダムの被害事例調査」の紹介
 4. 今後の予定
 5. その他

議 事：分科会及び WG 設立の趣旨・方針について説明・確認するとともに, 海外と国内の文献調査等に関する2つのサブ WG を設けて検討を進めることとし, それぞれの検討事項と作業分担について議論した。また, 佐藤信光幹事より地震によるダムの被害事例調査について, 佐藤弘行幹事より UASCE での設計基準等の話題提供がなされた。WG は2か月に1回程度開催することとし, 次回の WG は平成29年5月26日(金) 10~12時に日本大ダム会議で開催する予定を決めた。

出席者：佐々木委員長, 佐藤信光幹事, 佐藤弘行幹事, 林田洋一, 渡部大輔, 中村信一, 中野 靖, 下山顕治, 繁田淳吾, 富森 淳, 山下哲一, 中井利幸, 川野健一, 徳永 篤, 平松大周(オブ)
 事務局：松本徳久専務理事, 有賀茂常務理事